

## くにさき地域応援協議会 寄ろう会（よろうえ）

～令和5年7月28日（金）訪問～ 【国東市】



くにさき地域応援協議会「寄ろう会（よろうえ）」は、地域の少子高齢化により、幼稚園、小学校、中学校が統合されるなか、「気軽に立ち寄ることができる場所を創ろう」という思いから、地域のおみんなが連携して支え合う組織として、平成30年に設立されました。

スタートのきっかけは、長年地域づくりを実践している地区や団体に加え、他県からの移住者や行政機関等とも連携し、カフェの運営、食事会の開催といった地域活動や、買い物の送迎、草刈りなどの生活支援からでした。

コロナ禍では様々な活動が制限されましたが、地域のモチベーションを低下させないように「国東つながる暮らし」というサイト立ち上げ、SNSも活用して、それぞれの地域から活動情報の発信と共有を行っており、その取組は過疎地域における優良事例として、令和4年に「過疎地域持続的発展優良事例表彰 総務大臣賞」を受賞されています。

多くの活動についてご説明いただきましたが、中でもスマホ教室は、防災面での対応力強化に繋がるほか、お孫さんへ写真を送る事ができたなどと大変好評だったそうです。

課題となっている後継者不足の問題については、解決策の一つとして、様々なイベントに子どもたちを招いて高齢者と一緒に楽しむといった「多世代交流」を進めているとお話もありました。

皆さんには、今後も取組を継続いただき、さらに多くの世代が参加できるよう活動を広げていただきたいとお伝えしました。

## 対話風景



## 関連する県の施策

☆事業名：持続可能な地域づくり推進事業

事業概要：住民の希望を叶え、将来にわたり持続可能な地域づくりを実現するため、地域コミュニティ組織が行う地域課題の解決等に要する経費に対し市町村と連携して助成するほか、新たな組織の設立や再編・連携を支援

・高齢化集落等支援事業費補助金（補助率 県3/4以内、市町村1/5以上）

予算額：1億1,447万円（うち高齢化集落等支援事業費補助金 7,800万円）

〈くにさき地域応援協議会 寄ろう会とは〉

人口減少・少子高齢化により生活上の支援を必要とする人が増えるなか、国東市では、専門機関の支援だけでなく、自分たちにできる生活支援「住民同士の支えあい活動」の導入について本格的な検討が始まりました。

平成30年からスタートした住民団体「寄ろう会（よろうえ）」は、市内で地域づくりを実践している16団体が集まった団体です。市全域での地域づくりを連携させる活動を実施しており、現在では、若い世代も参加して各地域の活動が展開され、横のつながりを広げています。なお、「よろうえ」とは、国東市の方言で「あつまろう」の意味です。

